



代表取締役社長

白居 賢

株主の皆様へ

初夏の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の経営環境は米中貿易摩擦の長期化による電子部品業界の荷動きが減少したことに加え、第4四半期に新型コロナウイルスの感染拡大で、厳しい状況となりました。

当期の業績は減収減益を余儀なくされましたが、将来の成長を見据えて、拠点の拡大や生産性向上のための自動化など様々な施策を計画通り進めてきました。2020年度はこれら拠点の安定化と機能充実、自動化の取り組みなどを一層強化してまいります。

足元は厳しい状況が続きますが、新型コロナウイルス収束後は、電子部品の貨物需要は再び大きく回復してくるものと考えております。感染拡大阻止に力を注ぎながら、活動に制約はありますが、反転攻勢の時のために、今当社としてできることを進めてまいります。お客様毎に最適物流を提供することにこだわり、対象のお客様を増やしていくことに全力を上げていく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年3月期

IRレポート

～2019年4月1日から2020年3月31日まで～

株式の概況 (2020年3月31日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプスアルパイン(株)	16,526	46.7
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,806	7.9
TDK(株)	2,804	7.9
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG	964	2.7
アルパイン(株)	790	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

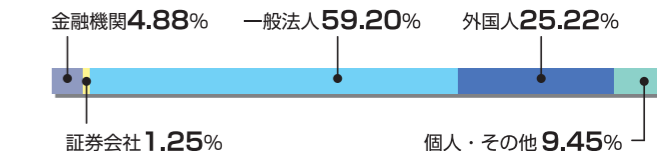
会社情報 (2020年3月31日 現在)

社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756
 電話番号 045-531-4133 (代表)
 設立 1964年7月2日
 資本金 23億4,904万円
 社員数 (連結) 5,894名 (単独) 941名
 運行車輛数 (連結) 3,405台 (単独) 661台
 倉庫面積 (連結) 864,798㎡ (単独) 291,163㎡

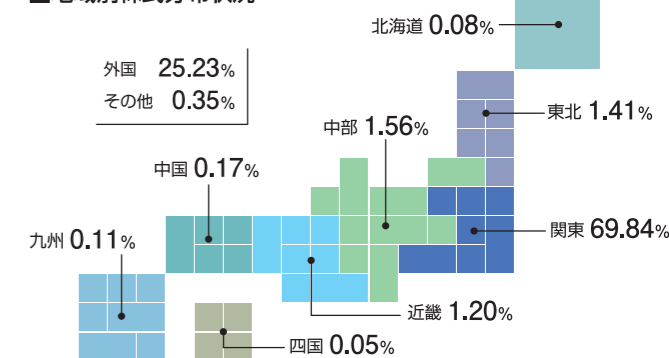
【株主優待制度のご案内】

- ◆対象となる株主様: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様
- ◆優待内容: QUOカード1,000円分 ◆贈呈時期: 6月下旬頃

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

物流個性 ●ホームページURL <https://www.alps-logistics.jp/>
 ●IR情報URL <https://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
 お客様のための、最適物流を。

当期の連結業績実績及び次期の連結業績予想

(単位：百万円、率：前期比増減)

2020年3月期(実績)	
売上高	100,741 (△4.0%)
営業利益	4,118 (△12.8%)
経常利益	3,886 (△19.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,389 (△4.4%)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

連結業績の概況 (2019年4月1日～2020年3月31日)



当社グループでは、中長期的に電子部品の需要拡大が見込まれる地域を中心に、新たにHUB拠点の整備とネットワークの充実を進め、新規取扱貨物量の拡大に努めました。更に、これまで拡充した拠点の充実を図ると共に、安定稼働と生産性向上に取り組みました。しかしながら、第4四半期に新型コロナウイルスの感染拡大による顧客工場の操業停止、各国における様々な規制強化もあり、主に中国、北米、アセアンにおいて貨物の取扱量に影響が出ました。当期の連結売上高は、前期比4.0%減の1,007億円に、連結営業利益は、12.8%減の41億円となりました。

電子部品物流事業

国内外で新規顧客の獲得に取り組みましたが、米中貿易摩擦などによる電子部品全体の荷動きが減少したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、減収・減益となりました。

商品販売事業

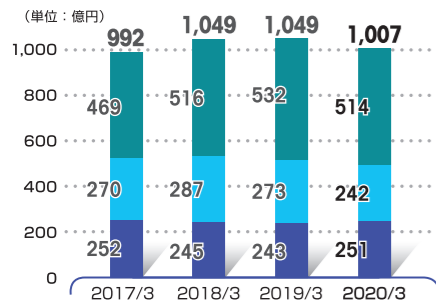
主に米国や中国でスマートフォン向けや車載関連向けの需要減や現地調達化に伴い、減収・減益となりました。

消費物流事業

化粧品関係の商品センター業務の拡販、第4四半期には生協関係の宅配需要が増加したことなどにより、増収・増益を確保することができました。

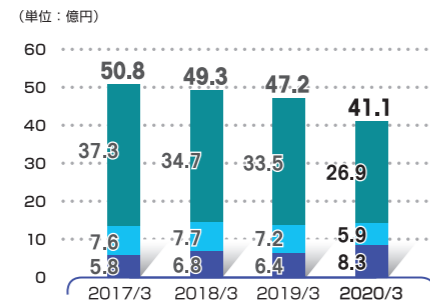
売上高

■ 電子部品物流事業
■ 商品販売事業
■ 消費物流事業

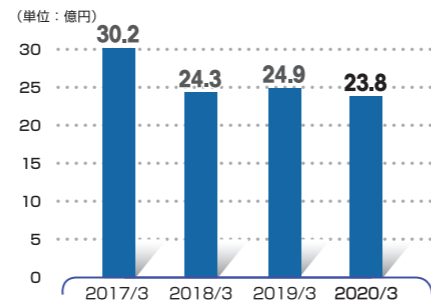


営業利益

■ 電子部品物流事業
■ 商品販売事業
■ 消費物流事業



親会社株主に帰属する当期純利益



トピックス

2020年度の事業方針

当社は2019年度よりスタートした3カ年の中期経営計画のもと、今年度もお客様の物流ニーズの高度化に対応すべく「最適物流」を進化させてまいります。計画の達成また企業価値の向上に向けて、グループ丸となって取り組んでまいります。

基本方針

進化する「最適物流」を
より多くのお客様に

- ・ 地域と市場・顧客の2つの軸で成長
- ・ 企業クオリティの向上

事業方針

- GTB Get the Business 市場と商品の拡大
- GTP Get the Profit 間・直の生産性向上
- GTC Get the Confidence 選ばれる会社

インド展開を加速

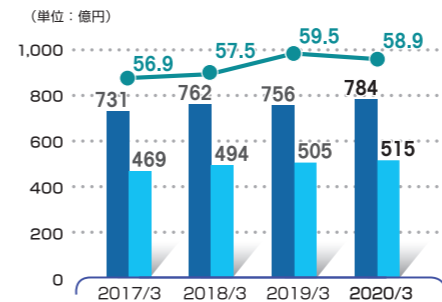
当社と(株)ロジコムの子会社アルプスロジコムは、インド西部グジャラート州に当社のインド2社目となる現地法人「アルプスロジコム・インド」を設立しました。2020年1月より約2300㎡の倉庫を設置しており、自動車用部品向けに競争力ある高付加価値な物流サービスを提供してまいります。

また、デリー近郊では「アルプス・ロジスティクス・インド」が、インドでは貴重とされる空調設備など電子部品・半導体の取り扱いに最適な環境で高品質な保管業務を提供しております。輸出入貨物の取り扱いに加えて今年度はインド国内の長距離輸送や集荷配送の共同運行開始を計画するなど、中長期的にインドでの事業展開を図ってまいります。



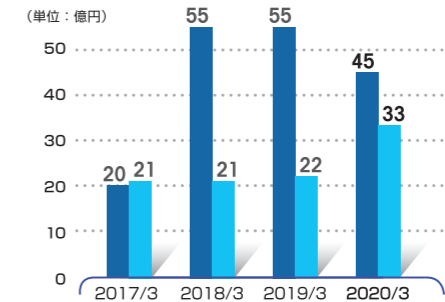
財政状況

■ 総資産
■ 純資産
● 自己資本比率(%)



設備投資・減価償却費

■ 設備投資
■ 減価償却費



ROE・ROA

● ROE
● ROA

